冬夜艸股句集

黄花雪作六編

艸股句集

鳥岡蔵書

文化甲子歳、

鳥路居士

癸亥發句集春之部

黄花蒼升六編

正月

歳旦

正月ら
朝ふる
山月や
ふるや
碧々
人ゑ
笠ま
詠ふ

升六
越中
子丑
大阪
素原
河内
車輪
尾ノリ
松足
越後
茶吞
但馬
其尚

初日　大阪　赤木
元日　北東　男
立春　羽陽　乙雀
生羽　三夕
大和　一亭
江戸　朱美
甲斐　尚升
大津　五来
大阪　瑞馬
、五寅
升六

初東風　陳亮雨
春立てまだ寒けれど風より早く北野とぶらふ利
、羅光
門松　河口　蓬宇
ゆく年の名残りもやうやう山稽
瑞馬
門まつりすつかり山うらゝ
大阪　馬尺
松飾　大和　嵩士
春立てまだこゝろみぬ柳かな
東作　桃原
招くまでもなけれどおのづと五本束
摺平
蓬萊　アキ　蓬窓
蓬萊や松をも竹をも草ながら
武庫　一草
羅光

福藁

案内

萬歳

猿曳

子日

同四 白妙
大阪 祠冠
フシミ 菩容
尾ノ 梅間
フシミ 切瑤
お来
大阪 半雅
尾ノ 天売
お来
丹後 木越
信州 蔦雨

若菜

人日

一亭 東京 汐洞
升六 美作 紫水
丹波 弐陵
越中 基風
車舗 大津 蓬泉
越中 呉山 大阪 松竹

七草　月入ても草くさもとめ日数へ

蓑父入　蓑父入乃ハ連事ナれ共

若艸　おもふ事とハなけれ若草を

草芽　陸奥乃草芽を喰ふて暗かな

木芽　木芽あらそふ東六

西ノ　如紅　尾畑

伊勢　卯七　乙州

五寅　武江

尼崎　爽望

西淀　佳隆

河内　車六

梅

春人　梅さくや大工ハ下手ながら

升六　大坂　布石　人中へおくるもやとよ

支岳　梅ハ咲ても

春思　西岡　狮九　梅ハ咲と

赤穂　惟孝　車舗　梅のもし田舎ハ

如紅　梅ハ

居尺　梅ハ

可友　梅ハ

梅月

押

葵亭
羅光
甲斐 都里
尾張 西軒
尾府 更石
子丑
武陵
大阪 自子
葵亭
仙台 雄湖
五寅

梅奉

賞

東石
淡路 義翁
桐冠
甫六
乙霍
南石
武陵
乙霍
葛雨
五東
羅光

百千鳥

呼子鳥

餘寒

支岳　紀中　芝之仙

伊与　其拇

五寅　大阪　文頂

蜂友　伊与　其苑

美作　淳春

堇子　影

布石

春宝

浮嚢

春望

京　田未

河南　八ヶ里

大阪　時来

残馬

九男

イヨ　馬塘

蓬宇

筑前　一馬

アキ　東門

堯士

大阪　件白

雪解

永日

春日

春乃空おもひのほかに降くらし
けふ消ぬべき雪のあけぼの　　南六
水鳥の羽音も高く聞ゆなり
雲とみやまに雪ぞ残れる　　我中 其吹
むくくと雲にわかるゝ山のはや
雪こそ花の一ひらもなき　　若ヲ 喬下
永ふりや大仏殿の高棟を
春乃日もる雲間より見ゆ　　我中 蓬山
くもりとみれば雨にもあらぬかや
夜乃間ふりつゝ積る雪かな　　一亭
そこみなりかくれいでぬ小笹原
雪乃下にも青やぎにけり　　支遙 フシミ
永ふりや大仏殿の高棟を
春乃日もる雲間より見ゆ　　招邦 大阪
くもりとみれば雨にもあらぬかや
夜乃間ふりつゝ積る雪かな　　宣白
そこみなりかくれいでぬ小笹原
雪乃下にも青やぎにけり　　生白
そこみなりかくれいでぬ小笹原
雪乃下にも青やぎにけり　　蒿士

遅日

遅さなり西ふかるよ空乃月　　大和 姑射
おもふより空も春なり雪まより　　我中 布石
おもふ〳〵もに家ありみるもまた
ゆめありやまた家ありみるも　　我中 素仙
夕くもるまでもも家ふ降彼山　　信州 如毛
ようやくやもゆる野田乃おみひら手折
ちるやあれ山乃端つけてこれうや　　江戸 春蛙
鯨をもむうみとはくうんを空め　　サヌキ 葵亭
むつまじくまつを植つる東山　　我里
かなでをそまつを植つる東山　　文頂
ちるやあれ山乃端つけてこれうや　　五寅
鯨をもむうみとはくうんを空め　　武陵
むつまじくまつを植つる東山　　我中 呂泉

南素白　武庫　岩苔
八ヶ里　春蛍
升六
拙士　我中　八了
大阪　一曼
八ヶ里　近江　宇洋
半雄

海苔
蛤
蛯

白臭　拍郎
飯塔　南六
猫恵　北曼　生野　五明
五朱　こゴ　拍升　信州　希吉
江戸　牛心
升六

御忌

二月部

二月

山よりもそれぶくろくろと二月ぶき　鶏頭

二月尽

出代

神午

隔笑

春風

九男　切琥
大阪　赤人
　　嘉里
　　澤芝
大阪　尺艾
信州　嘉磐
　　布舟
　　楳
　　吳山
コゴ　南美

春雨

尾十　春陌
　　五實
　　麻門
　　茶呑
　　支岳
　　秋九
　　雪嶺
　　甫六
武陵
仙笠　二
　　九男

春夜

春雨やみの　　き敦
　　　　阿蘭
　　　　陀水
　　　　詩
春雨や　　陽雪
春雨や　　馬尺
春雨や　　共尚
　　　　湖南
　　　　鶯邨
春雨や　　五寅
春雨や　　五来
はるさめや　　甫六
春雨を　　陽雪
　　　　癸亥

春月

朧月

春水

春川

五来
甫六
蓬ウ
惇堂
石蘭
奚亭
烏頃
篆吞
殤馬
馬尺
イガ女
凡る

春海

東錦
五
庵門
粒
迫江
桐川
作州
掬左
八ま里
飛里
五来
越州
祇中
祠冠
尾刀
士朗

春山

春野

春辺

初櫻　　如柳
伊賀
播
江戸
西國

山焼

[illegible]山焼乃ゟも月乃ゟそ
[illegible]ゝくゝそ多しよ焼野のそ縮

苗代

山陸みゟもそゝくゝそ多しよ焼野のそ縮
苗代あゟそゝくゝそ多しよ焼野のそ縮
苗代ゟ[illegible]ゟそゝくゝそ多しよ焼野のそ縮

芹

苗代や雨乃水ゟ[illegible]ゟ乱
水あゟそゝくゝそ多しよ焼野のそ縮

菜苔

[illegible]ゟそゝくゝそ多しよ焼野のそ縮
菜ゟそゝくゝそ多しよ焼野のそ縮
菜乃花ゟそゝくゝそ多しよ焼野のそ縮

胡鯨（マヽ）
敏雪
春塘
お来
、
夾竺
桃原
春座
圃丈
支岳
羅光
木容

菜乃花ゟそゝくゝそ多しよ焼野のそ縮
[illegible]ゟそゝくゝそ多しよ焼野のそ縮

藏

[illegible]ゟそゝくゝそ多しよ焼野のそ縮
里ゟそゝくゝそ多しよ焼野のそ縮
[illegible]ゟそゝくゝそ多しよ焼野のそ縮

春雨

[illegible]ゟそゝくゝそ多しよ焼野のそ縮
春ゟそゝくゝそ多しよ焼野のそ縮

帰雁

[illegible]ゟそゝくゝそ多しよ焼野のそ縮
[illegible]ゟそゝくゝそ多しよ焼野のそ縮
帰ゟそゝくゝそ多しよ焼野のそ縮

西湖
素人
暗来
猪馬
尾州
野雀
遠亭
春窓
燈屋
大阪
和大
羅光
日化
修春

葵

雪菴

為而　冥雯
大阪 吾菴
文頂
和人
皇頂
南英
備中 文里
夜来
情登
を於

蝶

蛙

黽

静かに死ぬる小蛙かな

除くや言ふ事も春のみ

死ぬふとも雨を聞きて菴の内

除も雨を聞きて菴の内

ともみえて深き水底蛙かな

野ともなく田もてるうらら蛙

おもかげやみかの原なる蛙かな

三月も雨を聞きて静かなる

おもかげやくみてもみてもなる蛙

日向 猪飼

文里

越中 祠冠

北舟

サカイ 異六

武陵

瑞雪

兩湖 梅二

黄柳

素人

貫包

春永

紙鳶

三月部

雛

ちるをまつてちるをまつてや黽すらん

四手先春をおもふなるべし

大ぐるまおもふ事なき小男鹿哉

小男鹿哉角もてるうらうらや

山ともなく仙洞揺うらうらや

三月も雨を聞きて静かなる

山ともなく源生寺木もてる

ひとりかくそこをさまれる好もの

基凡

圃文

嬉春

る影

依水 棋僊

文頂

卯七

招兄

八ヶ里

雑
鶏合
汐干
忘雲
素原
深春
陽炎
雪尺
落花
五粒
角六
陽炎
春望
鳥帰
蓬萊

北
落雲
蓬皐
文頂
すゝき
道庚
夾竹
日向 明字
素里
切瑳
路通
悼望
素堂

櫻

浴兎　全
羅光
葵亭
狂樹
桐川
車蛤
北男
武蕉
翠
孑丑
南美
西湖
昔失

文項
切疎
路調
城中、倚文
黄机
尾り羅坡
大阪　円居
升六
秋原
蜂友
和来

梨花　江戸　巢兆

何ものぞ…

布石

…

罌粟

茶摘

…

月化

卿妈

…

祠冠

連翹

…

芦丈　大阪

魯陋

…

雪耕　イヨ

紫水

…

春塁

大阪女　琴路

藤

…

棣堂　イヨ

山吹

…

月居

董

…

升六

草浪雅

…

半釵

…

芦丈

…

立柬

…

五寅

…

惟恭

…

招宇　松行

…

如来

蚕
蛇
雲入鳥
鳶
鳥巣

許水
河内 糸雑
おそ糸
羽翅
隠友
布石
八る里
乙霍
一亭
陽馬
捨井

若鮎
春鳥
神歌
春人
敦春

フシヨ 奥吾
大阪 井肩
陽馬
圍丈
乙霍
洛 宋也
芝宇
燈巻
姉紅
糸築

行春

暮春

三月尽

楊雪
弓城
仙草
芝仙
布石
東條 貫弘
羅之
喬卜
圃文
亨子

黃花葊井六編

四月部

四月節　立夏
更衣

菱亭
素人
有豆
納涼
サ男
翠光
晉川
南美

海佛　四条河原　垂妙
　　清き仏の名をとなへつゝも芝の庵ぞ哀なりける　升六
夏竈　夏ごもり庭の木陰をたのむかな　五来
　　夏ごもりや戸も明ながら人の影　惣影
短夜　一夜ねて見れば明けり夏の月　乙雲
　　短夜や白きものみて行水を捨る　蓬宇
　　短夜と頃こそ知れ明ぬれば　羅城
夏衣　みつあをき夏衣なり沙門達　拙丸
　　夏衣ぬぎ捨やおもむろに　拙水
　　夏衣ぬぎ捨やおもむろに　文頂
夏日　夏日さす柳の糸のうつくしき　瑞雪
夏雲　夕立の雲の峯より出る月　〃
　　木のあらし山より山へ雲の峯　八ヶ里
　　山里を掃てしばしの夏木立　狩衛
夏風　さゝ竹の風にしられて涼しさよ　ゑ嶺風
　　夕立や人の吹ゐる風の音　馬尺
　　夕立の風も萩をや過るらん　風雨
夏川　夏川に迫る石垣も涼しき　一雪
　　夏川の中より出る小家かな　佳峯
　　夏川や灯ともされて夏の月　麦亜
　　夏川のあなたもあをき小家かな　蓬宇

月乃さやけさをみるの川邊こゝろ
ちゝくと白い花さく野邊
氷ゐ、ゆゝや支里乃水乃音
ひと里支る乃中寺支山
支山や霞さゝやう一むら
なりあゝ氷乃支る山も深るゝ
支山や本乃ひゞきを出るさま
春山や鶯さゝやう一ゝ
雨まんとさゝやく支乃山
春秋う踏おる草乃角茶利
ひと里ゝ支る月おやまの秋

八ゝ里
七霄
摺芒
秋来
淳寿
揺九
南美
素士
春恩
春ゝ
春陰

春秋ゝをみさゝやるゆおゝる
出まゝ彩やまのふるのことゝ爰
りくるゝやまのふるのことゝ爰
ゆんまくゆゝくるゝくるゝ
いつゝゝもゝ高をゝゝろて叫ゝ鳥
ゝゝ秀ゝゝ郭ゝ
待ゝゝや行ゝゝ郭乃ゝゝ
田ゝゝ絶ゝ通ゆゝて叫ゝ
時月ゝゝゝゝゝ
おゝゝゝゝゝ
郭ゝゝゝゝゝ

陸奥
支岳
五粒
武庫
桐栖
アキ
阿九
米売
安東
奥州
薫春
有筐
康門
文里

老鶯　　京　嘯

宗吉鳥　　英　就

行〳〵子　　葵亭

士朗

逢宵

升六

松里　　城中　芦人

甫六

羽抜鳥

水鶏

敗

蚊遣

繁水

八ヶ里

阿波　志摩

春人

南美

乙雀

芦丈

侍文

大阪　畠仲

文頂

立来

敝恨　外七
松こと　麻ウ
蝿そ　春里
百そ乃　宮項
初鰹　揺尤
大下宮　江戸道春
めそ　笏美
かろ〳〵と　我妻
月物て　升六
牡丹　蓬宇
牡丹候て　麻ウ
白ちこ
五月百ふ

蟹栗苓　異山
文頂
掻井　蕪ノ
葵字花　宮項
憲春
羅光
芝仙
洞窮
布石
八ま里

武陵
千載
大津 駅道
義貞
女歌 大阪 銀杯
屋定
陽馬
武陵
五寅
女風子

貫厄
初冠
廾六
秦風
女千枝
陽馬
五来
秋来
治 桂昂
女中 牡由

草茂
嫩葉
茶摘
冊花

石川
鶯友
九男
狗丸
呉竹
一馬
琴路
八里
五寅
狩翁
五来

合歓花
推花
夏木立
病系

岐山
南六
羅光
惟琴
狗丸
女る技
升六
八る里
蓬皐
夜来
女風子

曝布　さらし布　春人

湿疹　くさ汁を　七羽　五明
　　あせあれハ　宵もする　深うち掻
　　深いろ　かゆみうるおいものや　芦史
　　ふき　見まもる　北男

五月部

五月　さつきまつ　幾白年
　　浦乃紅カラー　折うち　五月うら　切瑳

端午　ちまき　五来
　　おもひおもひ　死ぬ日ぶ　道哉
　　娘たち　ちまきたいふもの　士朗
　　旗うごく　峯の寺　麦二
　　松うごく　ちまき　春人
　　うま男　おまもり　北男
　　竹神日　弁慶　古帆
　　弁慶　おまもり　尾竹女
　　弁慶　木ぶり　方明
　　弁慶　松も　大坂東阿尓
　　雨こぬ　等　春里

若竹　夜人
東白
瑞馬
亨子
鶉友
乙雪
蓬山
素春
泰士
文頂
白年

田植
早乙女

早苗
梅雨
五月雨

東来
升六
馬尺
八千里
春岱
日化
布石
見物
桃士
春塘
陸春

夏月

解つゝみ　羅光
川狩　袋角
若狭　白年
傘　三河
待宵　草池
夏の月　羽冠
夏やせ　為雨
門口　くに女
戸ざゝら　八ヶ里
さゝ屋ゆ　生白
おもゝ　南美
心ざし　桐川

蛍

うそさむみ　夏吹
ものいふこと　月化
かたこと　利江
おもかげ　有望
ほのぐ　見拂
蛍火　事哉
ゆら〳〵　蓬山
ゆめの如　仙草
夕うつり　切斑
風吟　升六
かたらふて　陽雪

蝸牛

蝙蝠　梅陣乃　源氏の小袖の外

初蟬　かいつぶり　月さしのぼるよそ

稚飼　ちりけ陣や　団扇の白紙ちぎらし　蓬山　陽馬

秋色一つ　老木稚を責る　文頂

蚤　日人　大坂

火串　ちりくゝ火串燃るあの山　仙州

暁や　呼かへ　若翁

虻子　まりつきをやめる糸ざくら　升六

蚤　蝿　五明　趙州

子子　山里や　蝿もさそはぬ　布石

五月尽　ちりちりとつばくろのこと　如来

ちりちりとつばくろのこと　陽馬

うぐひすもどこへやら五月雨　惇盈

六月部

六日　七月や　一雨ごとに　秋の日のごと　八千里　加賀斗八

ちりちや山ごと飯をとふ月夜

水無月

氷室

祇園會

御祓

子丑 素人
丑寅 玉祖
寅卯 芦史
卯辰 柳原
辰巳 大阪 学舟
巳午 陸奥 壱岐
午未 大阪 千石
未申 羽冠
申酉 可友
酉戌 蜂夏

清水

夕立

如紅
卯七
酉六
文里
阿九
羅光
八ツ里
蓮華
素州
素琴
井乙

雲峯

吉嵐

薫風

納涼

涼しさを追ひ一鴉 鴉
もろもろ春ら春ともそき掃こう 蓬宇
涼しさを夕ひ桜乙 呂項
夕乃〳〵桜乙 有望
涼しさの宝ふろうたる木ゝ 宜白
まこと宝をかたしてゆ涼 春亭
おのよう〳〵て人をまこと 亭卜
門涼自ふ南ふ 南美
浴〳〵つ田処〳〵夕まく 義食
あるら妙ゝあめ涼ふ 隆友
川もこ月乙うゝもれ 文項

撰香
竹床几
手水
涼荘子
百日紅
昼顔
夕烏

春亭
丸男
風貫
烏頂
夢塵
陽雪
、
五寅
蓬ウ
八ヶ里
浴甫尺

墨奏　八ツ洗濯
美人草　大阪　空阿
蓮　馬尺
支盍
八ツ里
陽馬
生白
昇山
五寅
掬分
ま新

麻苧　八ツ里
混雑　五寅
芦丈
初冠
馬尺
義食
峰友
芦丈
羅生
吾荻
陽生

鵲巣

蝉　　仙草

食類　　寿卜

雑　　白年

秋待　　幸丞

　　岐

　　陪馬

　　子丑

　　幾伸

　　巴蛛

　　素葉

　　車輔

六月尽　　如柳

　　八千里

黄苍莽井六編

七月部

七月　みな月や母衣もうつろふ秋もきて　瑞雪
立秋　けふもまた秋をまつ中の庵　五寅
廣庭を户ごとにみれば秋の来る　千氣
今朝秋　色多き萩ふく声して秋きたる　掬左
七夕　し、ろ乃秋ひとゝ我ともなき明田哉　北東
うき秋ふたゝ〻ひとゝ我ともなき明田哉　洛玉洋
潮鶏哉是さへや二ツ星　大阪一炊　掬井

星迎　握りしめや山ふところの露乃底　八千里
山ふところ井ふゆるさ哉やはく迄　一嘗
昼ふしてふ秋もの招もの哉　茶呑
鵲哉そらゆく雲乃宵の間　芦史
天川　天乃川きらく〻星まで流れ　雪峰
きらく〻をふりこぼしてや天乃川　切琢
氣をもんでをしてふ秋乃天乃川　呉山
帳乃ふちきらく〻見えて天乃川　義食
きらく〻やあをく秋乃見えそめて　貫包
初月　八ツ過やきらく〻ふりの雨　空白
桐ふるやふりつゝそてる盆乃月　如紅

盆月

盆市　秋の歳末おもに物買ふ意の市　大阪　左遠

百燈篭　盆の燈籠を売る処　玉米

盆の事　西ふのこと　俳馬

魂祭　盆の事を通じてあの世の意　可友

魂まつる　魂まつることを乃ち迎火　素草

おもなくて　おもなくてと云ふ意　八了

聖なきもの　聖なきものとは魂まつる　可執里

門茶　よさこの事　馬湖

水揚よ　水揚よ茶売るこの茶売る　春人

見る　見る

踊　踊る

おどるもの　おどるもの中ふまでこの踊　一曽

踊る　踊るおどるおどるこの踊　蕃机

踊るや　踊るや日数うつる村うつる　大阪　奇剛

刺鯖　さし鯖ふ　俳馬

衝突入　衝突入ふ　秋来　女風子

相撲　相撲ふ事　扶来

初嵐　初嵐　浮春

吹つまる　吹つまる　千枝

そもそも　そもそも相撲の事ふ　五来

相撲の事　相撲の事ふ角力の　蓬山

そもそも　そもそも生事ふ嵐の　葉柳

秋風

秋空

煙雲

秋雨

拟宋
一嘗
島頂
淳春
子丑
白年
猶趣
夜来
武陵
吾黄
如奉
若翁
故人
異山
殊馬
拟里
尾ノ林史
乞物
指支
但馬如岡
異六
陽馬

秋水　秋山　秋野　花野　稲妻

秋雨乃ふりて降みふりても夕あらし　　夜人
あきかぜのふきにしからにあきやまの　　半残
ふもとのさとはいとゞさむけし　　大阪　梅後
大ぞらにみねもあきの末ちかし　　玄黄
人ごゑもなくてさびしき秋の山　　支考
ひとまちてさそふ秋の山　　加瑟
秋乃野乃ゆふべの雲のうすくなる　　我陵　梅選
あきの野やまたれをまつ虫のこゑ　　一雪
秋の野にさをしかなきてあさぼらけ　　司友
稲妻さつとみやこの北の空　　月化
稲妻のいつ方までもまつる野船かな　　但馬　女野　枝

雪　露

明ぬとや鳥もなくらん雪の山　　大阪　友國
稲妻のひかりをのこす雪の山　　蓬山
いもがたもとをゆきかへすかな　　播馬
雪雨乃ふりうつりつゝ雨となりぬ　　、
雪雨乃ふりうつりつゝ雨乃音　　、
雪ふりて冬ごもりせる門の松　　仙華
夕ぐれの雪ふりつゞく松の雪　　我竜
雪ふりて冬ごもりせる山の寺　　芦失
鳴鳥もなきてふりぬる雪の朝　　牛飽
夕ぐれや雪ふりつゞく野の小屋　　武男
ふりつゞく雪にうもれて冬ごもり　　甫六
ふりつゞく雪にうもれて冬ごもり　　一采

一葉

散柳

木槿

蘭
萩
荻

布石
ハる里
表原
サト人
蓮臺
野枝女
芦火
五寅
蕙春
仙草
狗九

女郎花
草花

番板

沢芝
九男
南美
翠光
乙雀
秋榛
松原
懐柏
筆魚
車端
榮水

魚

鉾魚

招魚

蓑魚

鯵

鰈

岡女
八ヶ里
五粒
升六
五寅
寿美
義倉
越州
羊食
掬二

蓼

鰡

鰌

鯛

秋鯵

七高
五東
松来
羅生
芝仙
馬場
一管
芦辺
博松
馬尺

八月部

八月　八月十五夜　升六
　　なかつきもたのまれぬるを
八朔採　採ふさく秋乃あらんかぎりこそ　桐川
三百十日　こる十なるふさくふそおく　大阪玉子
見えもあをこ百十なるふ破乃雲
駒迎　夕ゆふやみ乃ふるさとの駒迎　咲く　女ゑ枝
放鳥　放鳥　大江丸
秋月　秋月　馬場
　　秋乃月　拍子うみ　物馬
　　見えそふ山里うみ一秋乃月　文里

三日月　三日月　赤間
　　芽乃ゑ物と一こるの物うと一こなる月　支岳
待宵　待宵　奉凡
　　夕ゆふやみ乃ふるさとの待宵乃ふくらむ雫　牡由
名月　名月　五寅
　　名乃月　墓風
　　栗ゆ重厚　布石

真如の月　真いつわらず　如いつわらず

今は月　石山や　梢の雲も　ゆるむとみえて　鶏の声　茶呑
　　遠く月　おぼろ梢の　雲もふり　山来（シナノ）仙市
　　雪ふる月　人も居りて　そなれ月　指井（さくに）
月見　あれまくに　雨もれて　志賀をも月の　其尚
雨月　秋ちかき　ふるまの一つ　おふる雨の　桐川
　　なかうかぶ　一つ雨の　悼弘
十六夜　今ここうち　指ふうるみ雨の月　園史
　　十六や　ゆれてこぬる　外の雲　蓬皐

月級却下のうち更に程いろいろ

月

　　雲もそく十六おもけさうさう　支公
　　汐引や　浦を月の　米庵
　　秋ちかき　尾り竹有
　　八汐路上をるれて　水紅つき
　　人も来ぬ　おそすぐる庵を　東六
　　指東や　月おふ人の声　亀古
星月夜　水紅月　ふうらくる　昭子
　　七夕や　月も秋を　植捨て　子丑
　　星月夜　ふうらくる　古帆
初汐　雲の上も　おもいく秋の月の　羅史
　　　　　　　　　　　　　羊蛇

秋暮

秋夕

夜之

朝之

秋之

野分

身入

芒

尾花

八ヶ里　蓬山　笹宇　五来　尾ノリ大蘇　蓼春　島頃　松里　支五　麻門　九曳

有望　翠志　猶魂　野雀　八ヶ里　江戸葵市　風貫　良る　伏見　侍　信列　何頼　嘉里

日卅　紫苑　芦苍　稲

落水　　峰受
　　玄黄
添水　　な気
　　針六
鳴子　　蜂友
　　五来
棄山子　　憲春
秋角　　良子
　　壽卜
　　蓬山
　　芝仙

雁
渡鳥

雪仙
鳥頃
憲書
胡鯨
阿九
垂風　但馬如園
孫光
由美
な気
八ヶ里

四十雀

鶺鴒

鶺鴒

鴨

蛙音入

河鹿

九月部

九月

雛菓

人毋乃名もつ名乃月多
てるくとくへうなりくんみすれ
第月乃こゝろ
みくゝゆ
ゐゐくとも第乃うつ雛乃義
菊咲て赤ものゝ小第こゝ
ゆくさゝそ
ちちゝも

井眉
秋来
九粒
京笹鳥
奥眺
陽焉
芦人
冬支
乙霓

淳さのまりてきうーさく乃総
えくくくにくつせき交第うち
ね第ゐもまをおもおゐ
もりきむ第乃白ゐゆ
露ありく
西うちりをハーさものを后乃月
刈鳥き拵を物り後ゐを
そき者ゐいう秋ゆくを後乃月
第乃戸ふ見て居第月乃名ゆ
偶ちとはくゆ
ものゐ乃ゆくおくえ

后月

名残月
十三夜

白年
八ま里
支魚
大阪 吾岸
九粒
升六
九来
七朗
拇二
陽焉
芭宇

御迎宮　拾風乃吹くる音迎へ

和歌集

紅葉

裏拾

馬天

如神

一亭

掲友

芦人

拙原

屋史

冨白

武陵

艮齢

蓬宇

秋拾

蘭狩

布風

青颯

冬風

柳

布石

升六

掲馬

狩衛

九男

詫
繁鳴

魚吾

良子

夜人

蜂友

抽
秋日
雪夢花
新酒
秋夜
秋日

屠蘇山
猪馬
椎分
東阿尓
春人
死光
咸美
信列雲華
手影
帝石
立来

暮秋

行秋

冬迫

八千里

春午

文頂

如岳

月化

大阪 梅

何頼

東六

文里

春思

九男

十月部

九月尽

八千里

春二

十月部

十月

十月となりぬる浦の小舟かな　升七
十月となりぬる野山哉　倖
山もや十月らしき秋哉　掬九
筆そめそめ跡十月の郵　有望
鳥羽乃こゑ小六月　可支
小六月
立冬
冬ごもりやそこら一面ふる日影　狸馬
おとなしき山乃松　吳六
初冬哉宇瓊　　越後

小春

そこ事もなく小鳥のかしましき　如圃
おく山ふかき小春哉　喜人
山吹ふかうに小春哉　遠泰
柿赤き小春乃雨哉　良子
東雲乃空小春なり　立来
雲乃なごりうつる羽織哉　當所尾
夜もすがら雨ふる朝の小春哉　九里
玄猪

達ざる

おもしろき事ともなき達ざる哉　奇渕
なき人忌や拵へ置る菓子　扶来
なき人忌やたゞ一盃の酒　降友
芭蕉忌

そこもとや風乃おもかげ忌　当黄

十秋　　升六
憑ノ字多ク十秋ノ月秋ノ字ニ
木ノ字ノ脱セシ多シ十秋ノ神
秋ヨリテ白露ノ字ニ十秋ノ
戎諱　　異六
戎諱ヲ於ノ字ニ
タノ字ノ如ク
浦ノ字ニ余ノ字ニ戎諱
初時雨　　文頂
什ノ字ニ
山里ヲ
初ノ字ニ　　支岳
五絃ノ字ニ
五絃ノ字ニ神ノ字ニ　　北狄如

時日　　素州
雲ノ字ニ　　皇頂
水ノ字ニ
大ノ字ニ　　夜来
時ノ字ニ
招ノ字ニ　　白年
降ノ字ニ　　文宅
招ノ字ニ
降ノ字ニ川ノ字ニ　　見利
初ノ字ニ
中ノ字ニ　　資倉
夕日ノ字ニ
ノ字ニ　　利財
戸ノ字ニ　　仙州
　　治　芦渡
　　戎陵

初雪　西山初日をまねくそらの雲　桐川

霜　有明の月にまがふ霜の色　仙州

初霙　鶏の声を聞つゝ夜を明し　東明

初雪　初雪のまだ夜深く降つゝむ　蓬山

氷

木枯

風乃 扨ふもちるしぐるゝ雪 猟九
こゝろ〳〵や 隣へも たゞけ〳〵 め圍
木葉 庫裏籠 おのくたの 丁友
落葉 人乃事ゑ 蜂友
散紅葉 落る葉乃 猪鍋
扨凡も 慳貪 八ヶ里
冬木立 大根ふ 萬百
散る葉も 降出すも 烏頂
有明乃 基風
冬木立 漫〻

冬木立 一亭
梅花 武陵
木乃こ 岩望
指もおる 文里
水櫻 千尚
落ふん乃 赤乃水
菜花 若翁
なとゝ 及秀
批把花 支撲
批把乃 春人
月ゟ 深更
木乃間ゟ

水儒　水仙乃名ごとくねさ垣抔うゑ　斗六
　　水儒を月ゆきまちてとるべきもの　蓬宇
　　水仙をさかりすぎてめでうたふ　芦史
石蕗　はまぢかきところにも見て居るべき花なり　猪馬
寒菜　さきつゞくまつりごとよさかめでうたふ　今日
　　さ菜まつりまつるみつぐまつれ　蓬宇
　　おもつゞくさ菜をよみてさゝらつゞくる　五十九
　　さ菜をつゞくるまつりごとよ　春翁
抔草　抔つゞそうつゝ西なうゑ　利財
　　雪乃尾よりもそうろうそ　女風子

炉冥　炉冥々一帯なる山谷の系　何れ
火燵　火燵うち囲みて一人ゐ　南美
火掻　おのが身の上や狐火掻よ　殖月
　　抱くうき妻や狐火掻の
　　我さみし一火掻をゆく　尾崎紅葉
炭竈　炭竈の煙の中にも恋あれ　文頂
　　炭竈を焚く煙の中に探すある窗　一管
焙　　焙籠の火の消えやすき夜寒かな　雪堂
　　焙籠の灰かきならす女かな　何頼
　　焙籠ひきよせて居る女房かな　野枝

枯蘆　折ふしも枯蘆ばかり岸の家　去来
枯野　枯野原行くも帰るも人の顔　殖月
　　枯野行く我も行くなり夕日影　立寅
　　枯野行く人の心の寂しさよ　扶人
冬野　冬野行く人くろぐろと枯野かな　女
　　木の実落ちて軒ばの枯野哉　兵庫吳来
　　ひゞくともなき夜の声や冬の野　支考
　　猟犬の居ると見ゆる冬野かな　女風子
冬薔薇　冬薔薇に揺ぐともなき揺ぐかな　利江
　　冬薔薇折もて来ませ君と人　大夜乙人
　　冬薔薇折もて来ませ君と人　半狂

千吟
仙艸
何春
瑞昏
布石
馬尺
夜来
可友
冨白
芦人
築水

鞴
紙衣

頭巾
衾
蒲團
網代
ふとん

文頂
蓬山
風雲
升六
蓬皐
月化
貫泡
九寅
何頼
乙霍
発芝

鴨

鴨

鴛鴦

水鳥

鵜鷀

布石
八ま里
志保
ぬ押
綺石
竹有
掬弓
大阪
枝芝
芝仙
八千里
笠迫宇

表神　表神拍子　立寅　猪唐

十一月部

霰月　霰月や…　梧朗
冬至　山之へて十一日乃くもりの朝　猪唐
　　冬至まゐり…　田禾
　　老醫未死…　生白
冬至摔　木乃もとの…　梧風貫
類見世　朝見世や…　猪唐

神樂　神樂や…　九表
燎　燎や…　紫水
　　燎や…　今除
子系　子系や…　支系
鼠仰　子系や…　猪唐
　　鼠仰や…　猪友
　　鼠仰や…　指井
　　鼠仰や…　狐原
　　鼠仰や…　蘿卜
　　鼠乃もとの…　立素
　　鼠乃もとの…　馬場

降たゝぬ
ふるよりもなをめでたくも降まさる
雪みもてやかりの
ゆきふりつゝふかきやまのひとなかを
ふみわけてこそ
月さえてこよひもふらん小松原
大ぎみやこえまさるらん
降つもるとしをかさねて
望てみむ
あるじにたてまつりける
五寅
尾ノ大阜
春思
米麦
秋素
車塵
有望
立岡
義夷
扨兮
素榮

雪
吹
氷柱

うちあらし
吹りつゝ
ちるさくら
月かげ
浦乃
松風
ふきとをす
ふもとの
ちるさくら
吹乃
梢
山里や
水
南美
春彩
一雪
文垂
眞列
晧丸
呉山
陽馬
半雅
八千里
阿南友卿

鐘氷　蓬壺
鐘冴　升六
冬風　油風坊
冬雨　蓑盤木や冬乃雨降ぬき　蓬亡
冬枯　冬乃雨加茂や山ちと　七梅
　　宇治山ちと　甲吐月
　　冬乃雨　碧女
　　冬乃雨や吉野川　子彩

水涸　水枯て乃鴨多き山田　翠光
冬川　冬乃川なり乃小川なる　扶来
　　冬乃川淀ち都ちより　子丑
　　枯ちゝみら仰も風も冬乃川　八る星
　　冬川や冬乃風もあふ　芦欠
冬山　冬乃山たゝ乃山　日高可笛
　　ちゝ木乃つゝくる　久乃止　碧堂
　　冬乃山たゝもの〳〵澤　李窗
　　　　　　　　　　　　　安海

冬日　冬乃日を拙と書りり　風貫

拙乃字を伸――と冬至へ入るゝ　五秉

冬至和　降ると書て冬至和と訓せ　九曜

冬至和名抄に冬至も吟て侍る　拾遺

畑うり人よ見えりり冬至和　女風子

冬夜　冬乃夜や凡歩らく独乃ミ　佳菱

冬月　寒ふると浦人いへど冬乃月　支垂

大義そ冬至乃日より短ふらゝる冬乃月　斗六

朔むせそ冬至を過ぬ乃後千日訛る　発光

冬葱　拙うと乃中よ葱を白ひらめ　乙雀

葱洗ふ水乃ぬるゝ侭ミ風立りと　何我

混雜

くまり喰まて牡丹鍋乃別を笑ハるゝ
揮乃生洲嵐くまの系乃時雨
うゝ軈かちゝとる梵火鉢
多年寿ゝとり千度乃月　女野枝

雜冬

氷るなるふるさと一入る冬乃扇うた　松宇
冬さるや姓る小うり乃掛乍陵　就尾
なるのことくる山茶乃みゝや仲冬笑　五来

師走

招捨小枝ゝ年なをうた　多丑
ちさゝ出をる門乃松木哉　匹白
乃鴨乃旅を哭ゆくなる家　升大

獺ハ

獺ハやまき明りまて拍　大東
獺ハや枝乃神ゝ水乃音　舜之
隅ハやちゝ亀ちり考乃ちり　蓬山

炙婦

行ゝ乃松苗寿むるゝ是　生白
初ゝ夜乃ゝきゝ枝明乃
寒ゝとゝ後もらゝ留田川　昔人（サがミ）　翁三
海乃ゝ山乃陰ゝかゝをサるゝ　馬場

仙草　　初冬　三日乃月　　仙草
豹變　　立冬　入る七日　　豹變
遷喬　　小雪　廿二日　　芝仙
木葉落　　小雪　廿七日　　栗庫 祐昌
霜葉紅　　霜降　九日　　知園
定氷　　小雪　廿七日　　乙人
寒雷　　冬至　廿二日　　ゼクロ
寒月　　冬至　廿二日　　武陵
寒雲　　冬至　廿二日　　自笑
大雪　　大雪　六日　　茶吞
寒雪　　大雪　六日　　鴻雪

寒月　　一馬
寒雲　　東水
寒雪　　巴緑
寒聲　　宋元
寒夜　　赤石
二十三夜　　春人
寒月　　烏頂
寒月　　玄黄
寒雷　　秋来
寒聲　　鴻雪
寒夜　　文頂

寒念佛　松の葉もこゝに近うくらみぬ寒念仏　増水

冬籠　冬ごもり日数をつもりあらそひ　夷人

冬椿　冬ごもり外面の椿冬の梅　夷人

古暦　冬ごもり山姥さうな家に新　立寅

煤掃　煤はきもあらそひ古暦　春夏

節季候　煤はきもさそふ風の軽さ　馬足

節季候の笠の破れも見ゆるなり　乙霍

寶船　宝船ゆめのうちなる小笹そよぐなり　繁水

呉見　春うらゝ呉見の岸に船よせん　雁走

混雑　春笑山の掛乞共ゆる多木哉　八ヶ里

夕雲雀　夕雲雀うたひ大も波打際　呉山

動くや　動くやさくら人まで花ゆる、うれ　多木

松も哉　松も哉ひくゝ添ふ夜うぐひす　強雪

行年　行年や世をうき掛のうき　車嶋

小正月　小正月松の立木哉　支西

　　　　　　　　　　　　宋也

　　　　　　　　　　　　異来

　　　　　　　　　　　　升六

歲暮

大三十日

詠雪

國書刊行會